

平成 30 年 9 月 21 日 (金)

保護者様

高崎市立鼻高小学校  
校長 北森 章久

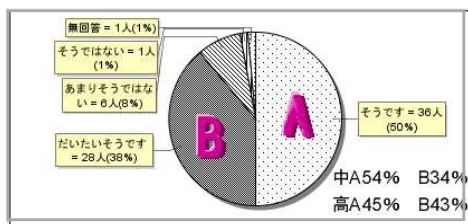
### 平成 30 年度学校教育活動評価アンケート①児童結果

日頃より本校教育推進のためにご協力をいただき感謝申し上げます。

さて、鼻高小学校教育活動評価①のアンケート調査では、大変お世話になりました。結果がまとまりましたので、お知らせいたします。グラフは、児童全体アンケート(3～6年生)の結果を表します。また、グラフの下に表示した数字は「中」は3、4年の数値、「高」は5、6年の数値です。評定につきましては、グラフの「そうです」をA、「だいたいそうです」をBとそれぞれ算出し、A+Bで評価項目がどの程度達成できたかのめやすにさせていただけたらと思います。なお、児童アンケートは3年生以上を対象に行いました。

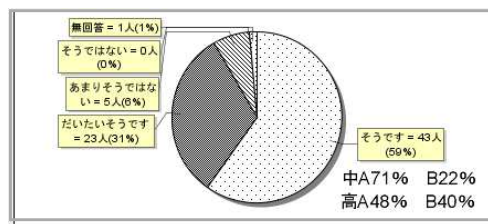
グラフは児童全体(3年～6年)のもの

#### 1 学校が楽しい



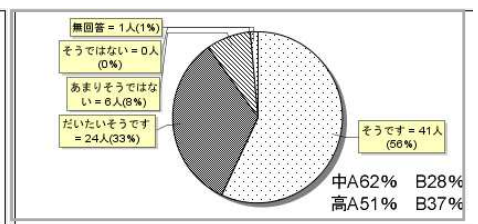
児童全体88%と達成率は高いが、まだ不十分であるので、全ての児童が楽しいと感じる学校づくりに努める。

#### 2 授業がわかる



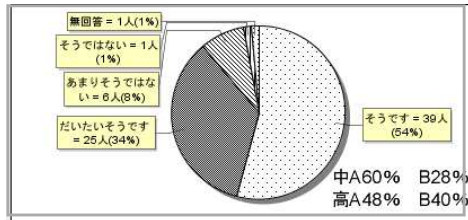
学校全体の達成率は高いものの、高学年のA評価が中学年と比較して低い。分かる授業の工夫に取り組む。

#### 3 算数や国語の問題ができる



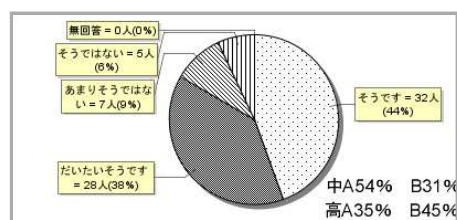
2の設問と同じような結果である。基礎を繰り返したり、自力解決の時間を確保したりして学力向上に努める。

#### 4 友だちに教えたり、教わったりする活動が楽しい



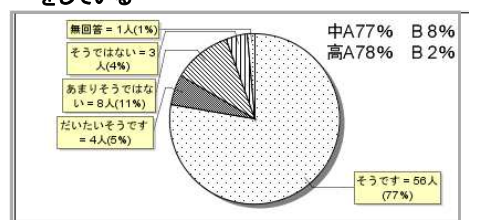
児童全体88%と達成率は高いが、そうでもないと感じている児童も数名いる。お互いが高め合える授業づくりをしていく。

#### 5 家で「学年×10分+10分」くらい勉強している



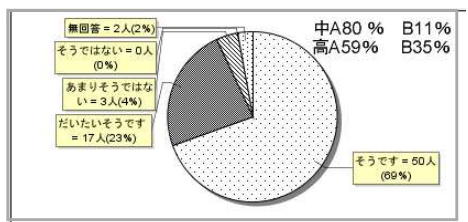
達成率は高いものの、A評価が低く、特に高学年では勉強している児童としていない児童の差が大きい。保護者と連携して家庭学習の改善に努める。

#### 6 月に4冊以上(3年)、月に3冊以上(4～6年)読書をしている



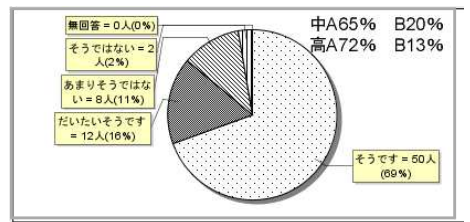
A評価が高い。読んでいない児童との差が大きい。読書が苦手な児童には、おすすめの本を紹介していく。

#### 7 友だちといっしょに勉強することが楽しい



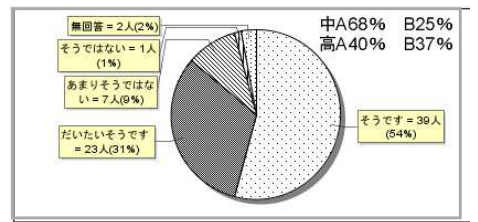
児童全体の達成率は高いものの、高学年のA評価が中学年と比較して低い。

#### 8 一学期にいじめを受けたことがない



達成率100%をめざし、ピアサポートを取り入れた人間関係づくりをさらに進めていく。

#### 9 先生は話をよく聞いてくれると思う

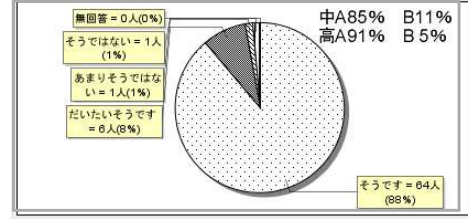
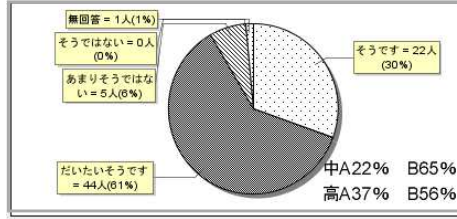
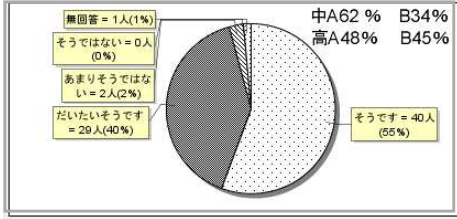


児童全体88%と達成率は高いが、そうでもないと感じている児童も数名いる。教師が児童の話をしっかり聞くことができるようゆとりを持った指導を心がける。

10 進んであいさつをしていたと思う

11 学校のルールや約束を守って生活していると思う

12 毎日朝ごはんを食べて登校している



学校全体の達成率が高いものの、高学年のA評価が中学年と比較して低い。挨拶のもつ意味を繰り返し指導し、教師が率先して挨拶を行う習慣づけをしていく。

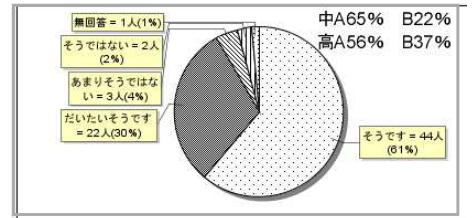
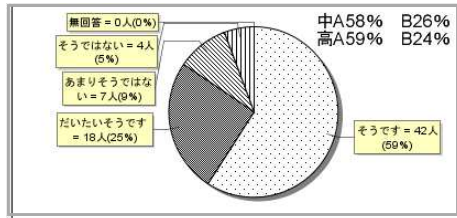
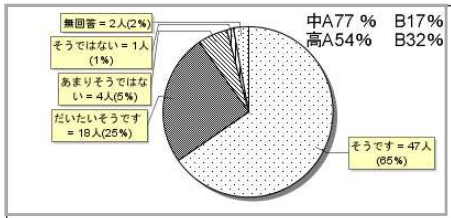
A評価が、中学年では2番目に、高学年では1番目に低い。集団のルールや約束を守ることによって楽しい学校生活が送れることを伝えていく。

全体の達成率が高い。また、高学年のA評価が最も高かった項目である。

13 8時間から10時間は睡眠をとっている

14 夜の10時までには寝るようにしている

15 自分のよいところや、将来の夢や希望について考える勉強をしたことがある



中学年の達成率が高い。

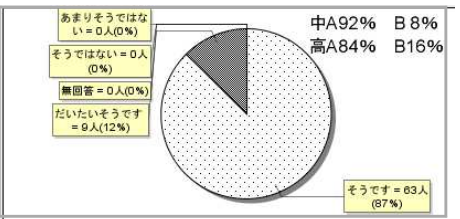
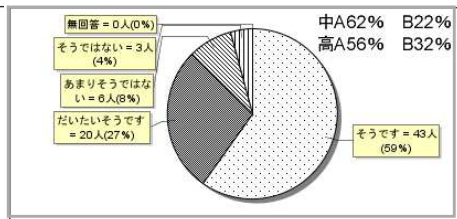
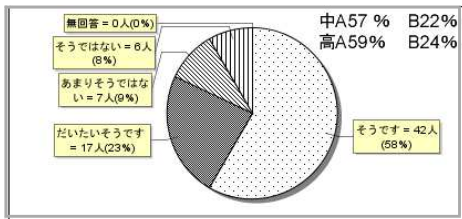
達成できていない児童が14%いる。寝不足は学習に集中できず、学力が向上しないことや健康を害することなどをすこやか委員会や保健だより等で引き続き発信していく。家庭での協力も必要。

児童全体の達成率が高い。今後もキャリア教育の内容を充実させていく。

16 将来の夢や希望について家の人と話をしたことがある

17 家でお手伝いをしている

18 交通事故や不審者に気をつけている



児童全体の達成率が低かった項目である。中学年の達成率は79%と低い。学習したことを、家庭でより話題にしやすいように学級通信や学校ホームページなどを工夫し、親子で将来の夢や希望を話し合ってもらうきっかけにする。

達成できていない児童が数名いる。家族の一員として「自分が役に立っている」と感じられるよう、お手伝いを家庭にすすめていく。

達成率が100%であった。今後も安全に登下校できるよう、交通指導員さんやあいさつ支援隊の方々、旗振り当番等、家庭や地域と連携して児童の安全に努める。